



今治にハマった皆さんに、今治の魅力や活動についてインタビュー i'm into Imabari!



File:21



Person

ジビエカフェレストラン DAISHIN オーナー
しまなみイノシシ活用隊 代表
渡邊秀典さん

瀬戸内海に浮かぶ大三島は、美しい自然に恵まれた「神の島」として知られています。しかし、豊かな環境の裏で深刻な問題となっているのが、イノシシによる農作物被害。この課題に立ち向かい、イノシシを地域資源として活用するさまざまな取り組みを進める渡邊秀典さんにお話を伺いました。

野生の恵みを地域資源へ

渡邊秀典さんは大三島出身。大学卒業後、家業を継ぎ柑橘農家として就農しました。その3~4年後、かつて島にはいなかったイノシシが突如現れ、瞬く間に繁殖。柑橘や農作物への被害が深刻化し、島内の農家にとって生活を脅かす大きな問題となったのです。柵を設置するなど防衛してもすべての農地は防ぎきれず、この危機を何とかしようと、渡邊さんは地元猟友会と協力し、ボランティアでイノシシの駆除を始めます。しかし、大きなイノシシを捕獲後、掘った穴に埋める作業は重労働で、限界を感じるようになったそうです。

そこで、2010年に「しまなみイノシシ活用隊」を結成、駆除だけでなく、資源として活用する新たな道を模索し始めました。



に爽やかな柑橘の香りがすると言われていています。都市部のシェフからも高く評価され、2017年には全国のジビエを競う「第1回 日本猪祭り・利き猪グランプリ」で見事グランプリを受賞。そのおいしさが広く認められるようになりました。

2018年には大三島の大山祇神社近くに、カフェレストラン「DAISHIN」をオープン。イノシシ肉や加工品、皮革製品などの販売も行いながら、観光客や地元の人々にジビエの魅力を伝えています。



木のぬくもりを感じる
ナチュラルな雰囲気の内店



DAISHINでは
イノシシ肉を使った
メニューを提供

ジビエの可能性を広げる

「活動を始めた当初は手探り状態でした。捕獲したイノシシの解体や肉の加工の技術を一から学び、試行錯誤を繰り返しました」と語る渡邊さん。地道な努力の末、ついに自信を持って販売できる品質の肉を提供できるようになりました。島の柑橘を食べて育ったイノシシの肉は、ほのか

持続可能な共生を目指して

「イノシシにしてみれば、普通に生活しているだけ。命を奪う以上は価値を損なわないようにしたいと思うし、よりおいしく食べてもらえるような仕事をしなくてはいけない」と渡邊さんは言います。イノシシ肉の販売を通じて、被害額を上回る収益を生み出すことができれば、それは

「資源」としての価値を証明することになります。単なる害獣駆除ではなく、活用に視点を置き、持続可能な地域づくりを目指す渡邊さんの取り組みは、多くの人々の共感を呼び、地域内外からも注目を集めています。



イノシシ肉を使った加工品



イノシシの皮革を使った小物なども販売している

しかし、最近懸念されているのが「豚熱(CSF)」の影響です。愛媛県では、豚熱ウイルスの拡散防止のため、感染個体が確認された地域から半径10km圏内の肉の販売が禁止されます。万一、島内で感染が発見された場合、渡邊さん達の商品も出荷停止になってしまいます。

それはすなわち仕事がなくなるということ。イノシシ被害は、島しょ部のみならず、今治市の陸地部の地域にとっても大きな課題でもあります。「今治市全体の取り組みとして、食肉加工施設の整備などを行うとともに、豚熱の検査体制を確立し、万が一の事態に備える仕組みを作りたい」と、喫緊の課題である豚熱対策にも奔走しています。



次世代へつなぐ

今治市合併20周年事業「今治みらい発掘プロジェクト」に参加し、他地域の人々とも交流を続けながら、今治市全体の地域課題の解決に向けた取り組みも進めている渡邊さん。

ジビエや観光、移住を軸とした地域振興の可能性を広げることで、大三島の魅力をより多くの人に発信し、持続可能な未来の実現を目指しています。

移住者が多い大三島において、渡邊さんは良き相談相手となり、これまで移住促進にも貢献してきました。これからは、移住者や地元の人が有効活用できるよう、島内に点在する登記が不明確な空き家や農地を整理し、次世代へ引き継ぐ仕組みづくりにも力を入れたいと言います。

「大三島の自然を守りながら、資源としての価値を見出し、次の世代に継承していきたい」と郷土への熱い想いを胸に、渡邊さんの挑戦はこれからも続いていきます。

あなたの i'm into をおしえてください



移住者との交流が大きな刺激になっているという渡邊さん。

外から来た人の視点で、地域課題がクリアに見えることもあり、彼らの新しい考え方に触れることで、視野が広がるそうです。

「I'm into 移住者との交流！」

渡邊さんは移住者との交流に夢中です！

●ウェブサイト



渡邊さんがオーナーを務めるDAISHIN

